

TOMORROW'S HARVEST

平成30年度〈刈入れ編〉参加者募集

平成30年度に、お米作りを担いアーティストとともに作品を制作する参加者を募集中。
アートや農業についての特別な知識も資格も要りません。
「やってみたい!」の気持があれば大歓迎。
青森の土に根ざした学びと実践の「場」を舞台に、あなただけのアート体験を始めてみませんか。

募集期間

3月10日(土)―5月28日(月) *必着

活動内容

- ・美術館で栽培された米や雑穀の収穫、加工
- ・美術館での作品制作

活動期間

平成31年3月末日まで

応募条件

- 1 | 不問 *就学前児童や小中学生の方は、保護者の方同伴でご参加いただけます。
- 2 | 中面右下の「ワークショップ」に参加可能であること。

活動費等

活動の際の交通費、謝礼等の支給はありません。
ボランティア保険には加入いたします(費用は当館が負担します)。

応募方法

「①氏名(ふりがな) ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス」を添え、青森県立美術館までお申し込み下さい。
メール、ファックス、はがき等形式は不問です。
メール、ファックスの場合は件名を「明日の収穫2018応募」としてください。

*お送りいただいた個人情報、応募受付及びプロジェクトに関するご連絡の目的でのみ使用いたします。

〒038-0021 青森市安田字近野185

青森県立美術館「明日の収穫」募集係

TEL | (017) 783 3000 FAX | (017) 783 5244

MAIL | bijutsukan@pref.aomori.lg.jp

アグロス・アートプロジェクト 2017

明日の収穫〈種まき編〉

成果発表展示

Agros Tomorrow's Harvest: Sowed seeds Project 2017

2018年3月10日(土)―5月6日(日)

*「コレクション展 2018-1」と同時期

料金 | 常設展示の一環として開催。

一般510(410)円 / 大学生・高校生300(240)円 / 中学生・小学生100(80)円

*()は20名以上の団体料金。心身に障がいのある方と付添者1名は無料。

主催 | 青森県立美術館

協力 | 青森県立郷土館

独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所

会場 | 常設展示室H

「アグロス・アートプロジェクト 明日の収穫」は県立美術館発の、農業とアート体験を掛け合わせた地域アートプロジェクトです。アーティストと参加者が美術館敷地内のお米や雑穀を育てる農園での農作業を体験し、そこでの収穫物をもとに一つの作品をつくり上げます。実施期間は2年間で、平成29年度の収穫体験を通じて制作計画を立てる「種まき編」、翌30年度において計画に基づき作品を制作・展示する「刈入れ編」として進行します。

今回美術館で行うのは「種まき編」の成果を紹介する発表展示です。農園での収穫物や記録写真、ドローイング、刺しゅう、交わされてきた言葉などで構成され、収穫作業や作品制作のための定例ワークショップをはじめとする様々な出来事を振り返り、平成30年度に行う作品制作の計画をご紹介します予定です。本展示の場は断片的なモノの集積に過ぎず、「展覧会」と呼ぶには早計かもしれません。しかしアーティストと参加者の学びと実践は、青森の大地の上で連綿と続いてきた営みにアートをつなぎ、来場者の心に青森の大地のための新しい「根」を予感させる「場」となることでしょう。ご期待ください。

参加者と作品をつくるアーティスト
大小島真木
 Maki OHKOJIMA
 画家。1987年東京都東久留米市生まれ。2011年女子美術大学大学院修士課程修了。描くことを通じて鳥や森、菌、鉱物、猿など他者の視野を自身に内在化し、物語ることを追求している。作品とは思考を少しずらしたり、視野を少し変えてみせたりすることの出来る“装置”のようなものと考え、日々制作中。主な賞に2009年ワンダーウォール賞、2014年VOCA奨励賞。個展、グループ展多数。インド、ポーランド、メキシコなどで滞在制作。2017年フランス海洋調査船タラ号にレジデンス・アーティストとして参加。近年、南沢氷川神社(東京)に天井画奉納。2017年多摩六都科学館(東京)との共同制作にてプラネタリアム番組を公開。同年「本と美術の展覧会 vol.1『絵と言葉のまじわりが物語のはじまりー絵本原画からそうぞうの森へー』」(太田市美術館・図書館)参加。

<http://www.ohkojima.com>

農業の場づくりに参加するアーティスト
齋藤瑠璃子
 Ruriko SAITO
 画家 / 齋藤農園3代目。1984年秋田県仙北市生まれ。2009年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。2011年から故郷に戻り農業と制作活動を開始。両者とともに軸とし、自らの日常体験をベースに、絵画作品や立体作品を空間インスタレーションの手法で展示する作品群を制作。主な個展に2011年「森の共犯者 郷の抽象化」(ゼロダテアートセンター-東京)他。主なグループ展に2016年「あきたの美術」(秋田県立美術館)、2017年「VOCA展2017」(上野の森美術館、東京)他多数。2009年第24回ホルベイン・スカラシップ奨学者。齋藤農園は職業軍人だった氏の祖父が戦後に興したもの。土地に300年以上伝わる日本一大きいとされる「西明寺栗」や、周囲の豊富な溪流の水を活かした「原木椎茸」等を育てている。

<http://saito-ruriko.com>

企画の詳細は美術館ウェブサイトや企画SNSを通じて随時更新中。ぜひご覧ください。
 美術館ウェブサイト <http://www.aomori-museum.jp>
 美術館facebook <http://www.facebook.com/aomori.museum/>
 「明日の収穫」twitter https://twitter.com/Agros_ap



青森県立美術館
 AOMORI MUSEUM OF ART
 〒038-0021 青森市安田字近野185
 TEL |(017) 783-3000 FAX |(017) 783-5244



平成30年度〈刈入れ編〉参加者募集

Schedule

〈刈入れ編〉の流れ
 ー
 バージョンアップした美術館敷地内のお米作りや作品制作のためのワークショップを経験し、その後、アーティストと参加者による作品の制作と仕上げ作業を行っていただきます。制作には前年度からの継続参加者も加わり、サポートします。

「全体説明会」
 日時 | ①4月21日(土)、②5月6日(日)
 各日13:00-15:00
 会場 | ワークショップB
 申込不要でどなたでもご参加いただけます。
 参加ご希望の方は会場にご集合下さい。

*2回とも同内容です。いずれかご都合のよい日時にご参加ください。



「ワークショップ」
 5月26日(土) = 田植え作業+作品制作ワークショップ②
 6月16日(土) = 作品制作ワークショップ③
 7月14日(土) = 作品制作ワークショップ④
 8月18日(土) = 作品制作ワークショップ⑤
 9月8日(土) = 作品制作ワークショップ⑥
 10月6日(土) = 収穫-脱穀-精米作業+作品制作ワークショップ⑦
 11月の2-3週間 = アーティストと行う作品の仕上げ期間
 (期間中2、3回程度ご参加ください)
 12月8日(土) = 展示制作ワークショップ①
 1月19日(土) = 展示制作ワークショップ②
 *各日10:00-12:00予定 場所は全て美術館ワークショップヤードの農園周辺
 *スケジュールはお米の生育状況等に応じて変更の場合がございます。

「作品展示」
 期間 | 平成31年1月26日(土)ー3月3日(日)(予定)
 会場 | コミュニティギャラリーABC(予定) 入場無料

Agros Art Project 2017

明日の収穫

〈種まき編〉

成果発表展示

関連企画
 アーティストと平成29年度参加者との先品制作を体験するワークショップを行います。平成30年度参加を検討されている方はぜひご参加ください。
 ここの制作物は作品を構成する一部になります！
 日時 | ①3月10日(土)、②4月21日(土)、③5月6日(日)
 各日10:00-12:00
 会場 | 常設展示室H 参加無料・申込不要。
 参加ご希望の方はワークショップB(美術館地下1階)にご集合下さい。
 その後会場へ移動します。